

公益社団法人 千葉市シルバー人材センター

1 団体概要

設立年月日	昭和63年4月1日	出資・出捐状況	0 千円 (うち市 千円)
設立目的	センターは、定年退職者等の高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その能力を生かした就業その他の多様な社会参加活動を援助して、これらの者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。		
所在地	千葉市中央区末広3丁目17番15号		
代表者	理事長 稲生 勝義		
所管課	保健福祉局高齢障害部高齢福祉課		

2 組織状況 (令和6年4月1日現在) (単位:人)

	常勤	非常勤	計
役員(監事含む)	2 (1)	19	21 (1)
うち市OB	2 (1)	0	2 (1)
うち市派遣	0		
職員	11		
うちプロパー	10		
うち市OB	1		
うち市派遣	0		
計	13		

※常勤役員と常勤職員とを兼務している者については、常勤役員数にのみ計上し、その人数(内数)を括弧で記載している。

職員平均年齢	45.9 歳	職員平均給与(年額)	6,367,271 円	役員平均報酬等額(年額)	5,428,600 円
--------	--------	------------	-------------	--------------	-------------

※常勤職員(市派遣を除く)の平均

※常勤役員についての平均

3 財務状況 (単位:円)

	R3年度	R4年度	R5年度
総収入(A)	993,500,697	1,013,150,776	1,044,558,697
総支出(B)	991,188,131	1,013,781,856	1,049,045,504
当期収支(A-B)	2,312,566	▲ 631,080	▲ 4,486,807
総資産(C)	246,221,401	200,749,283	178,427,404
負債(D)	181,804,567	136,963,529	119,128,457
正味財産合計(C-D)	64,416,834	63,785,754	59,298,947
市補助金	88,100,000	90,520,000	85,409,000
市委託料	180,271,797	182,359,192	190,713,986

4 実施事業 (単位:円、%)

主要事業	区分	事業内容	事業費※	R5年度決算額	
				市支出額	依存率
シルバー人材センター事業 (事業所・一般家庭等からの受託ほか)	自/受 公益	高齢者の就業機会の確保・提供ほか	816,048,368	83,910,000	10.3
シルバー人材センター事業 (市からの受託)	受託 公益	高齢者の就業機会の確保・提供ほか	190,713,986	190,713,986	100.0
労働者派遣事業	自主 公益	高齢者の就業機会の確保・提供ほか	9,364,082	0	0.0
職業紹介事業	自主 公益	高齢者の就業機会の確保・提供ほか	41,095	0	0.0
介護保険事業	自/受 公益	高齢者の就業機会の確保・提供ほか	3,369,140	1,499,000	44.5

※R5年度決算額

指定管理者として管理する公の施設	
------------------	--

情報公開	HPアドレス	https://chiba-sic.com/
	公開情報	■ 定款・寄付行為 ■ 役員名簿 ■ 財務状況 ■ 経営改善計画

5 評価指標(共通指標) (単位:%)

	評価指標	R3年度	R4年度	R5年度
自立性	補助金依存率	8.9	8.9	8.2
	受託事業収入率	18.1	18.0	18.3
	自主事業比率	81.2	81.6	81.3
効率性	人件費比率	12.6	14.1	14.3
	管理費比率	1.9	2.1	2.8
安全性	自己資本比率	26.2	31.8	33.2
	流動比率	110.2	111.1	104.6
	固定長期適合率	90.5	87.7	95.6

6 活動指標(個別指標)

活動指標	R3年度	R4年度	R5年度	備考
会員数	2,012	2,103	2,208	
うち女性会員数			719	第5次経営改善計画よりKPI数値として目標値を定めた
入会者数			508	第5次経営改善計画よりKPI数値として目標値を定めた
退会者数			403	第5次経営改善計画よりKPI数値として目標値を定めた
就業延人員(受託事業)			188,767	第5次経営改善計画よりKPI数値として目標値を定めた
就業延人員(派遣事業)			19,545	第5次経営改善計画よりKPI数値として目標値を定めた
契約金額(受託事業)	942,256,767	972,191,851	909,225,299	これまで「受託・独自・派遣事業等の合計額」目標値を定めていたが、第5次経営改善計画よりKPI数値として「受託・独自事業等の合計額」と「派遣事業の合計額」に分割
契約金額(派遣事業)			116,568,135	第5次経営改善計画よりKPI数値として目標値を定めた
新規契約件数(受託事業)			1,080	第5次経営改善計画よりKPI数値として目標値を定めた
新規契約件数(派遣事業)			14	第5次経営改善計画よりKPI数値として目標値を定めた
重篤事故件数	0	0	0	
就業中傷害事故件数			8	第5次経営改善計画よりKPI数値として目標値を定めた
就業中途上傷害事故件数			7	第5次経営改善計画よりKPI数値として目標値を定めた
賠償事故件数			6	第5次経営改善計画よりKPI数値として目標値を定めた

7 経営改善計画

計画期間	R 5 年度 ~ R 7 年度
経営方針	当センターは、「自主・自立、共働・共助」を基本理念とし、生きがいの充実や社会参加を希望する高齢者の就業の機会の増大と福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに貢献していくため、会員の増強・就業機会の拡大・安全就業の推進・事業推進体制の強化の4項目を主要課題として捉え、重点的に事業を推進することを経営の基本方針とする。
経営課題	当センターの担うべき役割を認識し、第4次基本計画に掲げる4つの方針「会員の増強」「就業機会の拡大」「安全就業の推進」「事業推進体制の強化」を主要課題として捉え、重点的に事業を推進することを経営の基本方針とします。

<取組項目>

取組項目	令和5年度策定の計画			特記事項
	取組前 (R4年度)	目標 (R5年度)	現状 (R5年度)	
経営の効率化				
事業の効率化	実施	実施	実施	アウトソーシングなどの導入
事業評価の実施	実施	実施	実施	発注者に対し満足度調査等を実施
収入の確保	実施	実施	実施	事務費収入等の増収
組織・運営体制				
組織の簡素化	検討	実施	実施	役員構成や事務局組織の見直し
役員の登用	実施	実施	実施	関係機関からの登用、女性理事の定員増
経理責任の明確化	実施	実施	実施	財務規程による会計処理基準に従い適切な管理を実施
職員の雇用	実施	実施	実施	採用計画の策定、多様な雇用形態の導入
透明性の確保	実施	実施	実施	HPなどによる情報開示
個人情報保護等	実施	実施	実施	関係法令等に基づく適切な管理
財務に関する事項	実施	実施	実施	内部統制の維持及び外部監査の実施
市民の利便性の向上	一部実施	実施	実施	利用手続きの見直し
市内産業の振興	実施	実施	実施	地元産業の活性化に貢献
暴力団排除	実施	実施	実施	関係法令等に基づく適切な管理
環境への配慮	実施	実施	実施	関係法令等に基づく適切な管理
人事・給与制度				
勤労意欲を高める制度	未実施	検討	未実施	団体の状況を踏まえ適正な評価を検討
給与体系	一部実施	一部実施	一部実施	独自の給与体系の整備
退職給付引当金	実施	実施	実施	計画的な積み立て
人材育成	実施	実施	実施	職務に応じた研修

団体の資金運用				
資金運用	一部実施	実施	未実施	運用資金がないため未実施
経営改善計画の策定				
経営改善計画の進行管理	実施	実施	実施	毎年度実施
新規経営改善計画の策定	実施	実施	実施	令和5年度より第5次経営改善計画策定し実施

8 外郭団体による評価

取組項目に関する評価	<p>(1) 経営の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受注専用Webフォームをより分かり易い内容へ変更し、延べ463件(前年度比43件増)の申し込みがあった。 ・各職種ごとの「ニーズ調査」を431者に対しておこない、会員の就業状態や態度、仕事の出来栄など、4項目について測定し245者の回答をいただき、各項目概ね高い評価を得ることができた。特に、レポート依頼については90%以上の評価を得た。 ・インボイス制度の対応により、財源確保のため事務比率8.0%から9.8%に引き上げ自主財源を確保した。 <p>(2) 組織・運営体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織編成を一部変更、事業課2班を3班に増やし割り当て業務単位の編成に整え業務の効率化を図った。 ・HPに役員名簿や財務諸表等を掲載するとともに、基本計画の進捗状況を掲載した。 ・個人情報の保護については、令和4年度より法律が改正されたことから、より厳密に個人情報を取り扱っていく。 ・内部統制の維持及び外部監査については、計画的に実施している。 <p>(3) 人事・給与制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロパー職員の退職金の引当資金について、千葉市との協議により計画的に積み増しを図った。 ・外郭団体等連絡協議会や県連合が実施する各種研修会への出席。 <p>(4) 団体の資金運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定資産の運用については、将来の資金需要等を考慮し現状では難しいと判断。 <p>(5) 経営改善計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規経営改善計画を3年間とする第5次計画を策定し対応中。 ・経営改善計画の進行管理について、本経営評価シートを基に報告。
総合評価	<p>・第4次基本計画の策定とこれに付随する、「会員の増強」、「就業機会の拡大」、「安全就業の推進」、「事業推進体制の強化」の4つの基本方針を達成するため、重要業績評価指数(KPI)による具体的な指数(目標値)設定をおこない各事業に取り組んできた。</p> <p>「会員の増強」では、目標値2,050人を大きく超え、2,208人となり(前年度実績比では105人増)で多くの市民の方々からの賛同を得ることができ、会員確保の推進を図りました。</p> <p>「就業機会の拡大」では、契約額全体で約10億2,600万円、目標額の9億6,500万円の数値を達成、そのなかでも派遣事業は契約額1億1,660万円、前年度比21%増と大きく目標数値を超えることができました。また、全会員数に対する就業提供割合は79.1%となった。</p> <p>「安全就業の推進」では、定期安全パトロールなど安全推進の強化・啓発に取り組み、事故件数については、重篤事故0件、就業中傷害事故件数8件、就業途上傷害事故件数7件とともに目標値を超え未達となった。賠償事項は6件と目標値と同数で目標達成となった。</p> <p>「事業推進体制の強化」では、昨年10月から導入されたインボイス制度の対応として、事務比率を8.0%から9.8%に改定し財源不足に対応した。</p> <p>・経営改善計画に掲げる取り組み項目については、各項目とも一定の方針を定めることができたが、人事・給与制度(人事考課など)では組織規模に応じた取り組みが課題となっている。</p>
今後の方針	<p>・経営課題については、第5次基本計画に基づく各取り組みの進行管理により、計画的に実施していく。</p> <p>・経営改善計画に掲げる取り組み項目については、アウトソーシングの推進などによる経営の効率化、自前財源の更なる確保、事務事業の変化に柔軟に対応できる事務局組織の必要に応じた見直し、会員拡大、就業拡大及び安全適正就業を推進し事業経営の充実を図って行く。</p>

9 所管局による評価

<p>取組項目に関する評価</p>	<p>(1) 経営の効率化 業務改善等において、受注専用Webフォームについては、今後も工夫等を凝らし積極的に実施されたい。 各職種ごとの「ニーズ調査」にて、特にリピート依頼については90%以上の評価があったことは評価できる。今後も満足度向上のため、高い水準を確保するよう実施されたい。</p> <p>(2) 組織・運営体制 組織編成を一部変更し効率化を図った点は評価できる。 透明性を確保した事業運営を継続すること。</p> <p>(3) 人事・給与制度 勤労意欲を高める制度として、職務実績を適正に評価し、昇任や給与処遇に反映するとしているが、未実施となっている。早急に効果等を検討したうえ、所要の措置を講じられたい。</p> <p>(4) 団体の資金運用 他市の取組みなど参考に、引き続き資産運用の方法を検討し、安全かつ確実な方法をもって実施されたい。</p> <p>(5) 経営改善計画の策定 第5次基本計画に基づき、計画の進捗管理を適切に行い、課題等を的確に把握し、今後の経営改善に努められたい。</p>
<p>総合評価</p>	<p>概ね計画どおりを遂行しているよう見受けられるが、未実施となっている取組みについては、あらためて必要性を検討するなど、次期改善計画の策定に向けて状況を精査していただきたい。</p>
<p>今後の方針</p>	<p>定年の延長や継続雇用制度の普及等に伴い、シルバー人材センター会員は全国的にも減少傾向ではあるが、一方で、シルバー人材センターには、高齢者の活躍の場を広げ、地域の様々な課題解決を図るため、人手不足分野等での就業機会の開拓・マッチング機能や地域ごとの特色や実情を踏まえた積極的な取組みが期待されており、シルバー人材センターによって多様な就業機会が提供されることにより、「地域のために何かしたい」「まだまだ輝きたい」という思いを持った元気な高齢者の受け皿となることも期待できる。今後も多様化、複雑化する社会情勢のニーズに効率的かつ迅速・柔軟に対応するため、所管課としても適切に支援していきたい。</p>